

## 第123回エフエム熱海湯河原 番組審議委員会 議事録

- 1 開催日時 令和4年7月21日(木)午後1時30分
- 2 場所 熱海市中央公民館(いきいきプラザ)6階 第1会議室  
(熱海市中央町1-25)
- 3 委員総数 10名、出席委員数8名、欠席委員数2名  
出席委員:さいとう真由美、館石晃一、小原健、川口正樹、宮下睦史、  
石田浩二(代理:久能木孝一)、鈴木なつみ(感想提出)、山田碩斗(感想提出)  
欠席委員:深田真弓、高橋祐介  
放送局側出席者:山崎浩一、金井周平
- 4 前回審議番組の経過 開催通知に議事録を添付した
- 5 議事 番組へのご意見  
◆対象番組:『KAHORU(かおる)の聴く読書』
  - ・放送日程:毎月第2木曜日 20時~20時30分(30分録音番組)
  - ・令和4年6月9日放送分

### ○委員からの意見

- ・穏やかな口調で音楽と一緒に編集されていて話を聴きながら次々と情景が浮かんできてジーンとするところもあった。
- ・雨の匂いという言葉では匂いも感じられるようなとても素敵な語りだった
- ・番組構成も音楽と合っていてとても良かった。
- ・終わり方も良かった
- ・最近コロナ禍で癒しを求めている方、眠れない方が沢山いて、Youtubeなどでも延々と音楽を聴いたり、癒しの番組が沢山ある。放送時間も午後8時からということで、眠りにつく時間(人それぞれだが)に心和むような番組はとても良いと思う。
- ・伊東国際交流協会の会員ということなので、もし英語も出来るなら英語の話も扱うとリスナーが広がると思う。
- ・ひと息ついた時間にほんわかした感じになれるのが良いと思う
- ・季節感のある話も聴けて企画として良いのでは
- ・今後パーソナリティーに読んでもらいたい話をリスナーからのリクエストで受け付けてみてはどうか
- ・イントロの部分のトークでBGMが強く少し聴きづらいと感じた
- ・全体を通して良い企画だと思うので続けてほしい
- ・聴きやすい声で良い。
- ・他にも何か活動しているのか

### 《局から回答》

- ⇒伊東国際交流協会や読み聞かせの活動もしている
- ・きれいに録音されているが場所はスタジオなのか自宅なのか

## 《局から回答》

⇒本人がFMのスタジオに来て収録しています

- ・一人で何役も演じて話が伝わり上手だと思う
- ・性別から年齢まで声だけで伝わるのがすごい
- ・一度聴いたらファンが付くと思うので、きっかけを作ればリスナーが増えるのでは
- ・年を重ねるごとに老眼が進み本を読むのが億劫になり、普段からYoutubeなどでオリジナルの物から既存の小説まで聴取しているが、この番組は良いと思う。
- ・月一回ではなく毎週放送してほしい
- ・長いストーリー作品を連続もので放送しても良いと思う
- ・活字だと忙しくて読む時間が無いという事もあるので耳で聴くラジオは良い
- ・このような朗読を聴かせる番組があるとFM熱海湯河原のコンテンツの幅が広がる
- ・季節や世情にあったものだけでなく、地域にあったもの、地域の歴史にあったものなども選ぶと良いのでは(リクエストで受け付けても良い)
- ・その回で完結しない長い作品を数回にわたり放送するのも良いのでは
- ・落ち着いた声で集中しリラックスして聴ける
- ・役によって声の幅を分けており引き込まれる。
- ・内容も面白い。
- ・ナレーションとセリフの時で読み方を変えているので、聞きやすくその場面を想像しやすかった。
- ・落ち着いたトーンで読み上げているので、リラックスしたい時に良いと思う。
- ・読み上げる話の内容に合った BGM を流していたので、より話の雰囲気を感じることができる。
- ・尺の都合上仕方ないと思うが、最後の話し終わった後の BGM が長く感じた。もう少しパーソナリティの方が長く話してもよかったかもしれない。

## 6 その他参考となる事項

番組審議委員会の開催日を委員に諮ったところ、

次回は、令和4年9月15日(木)に湯河原町内で開催することになった。